

担当課リスト

事項	部局庁	担当課	連絡先
熊本地震について	大臣官房	文書課災害総合対策室	03-6744-2142
現在の状況(消費・安全局)	消費・安全局	総務課	03-6744-2136
熊本地震に係る支援物資の供給予定	食料産業局	企画課	03-3502-5742
熊本県における生乳流通の現状について	生産局	畜産部牛乳乳製品課	03-3502-5987
土地改良施設関係の状況について	農村振興局	防災課災害対策室	03-6744-2211
熊本地震における対応について	政策統括官	穀物課	03-3502-5959
		貿易業務課	03-6744-0585
(研)農業・食品産業技術総合研究機構における被害の状況	技術会議事務局	研究調整課	03-3502-7439
平成28年熊本地震の被害状況について	林野庁	治山課山地災害対策室	03-3501-4756
平成28年熊本地震について	水産庁	防災漁村課水産施設災害対策室	03-3502-5638

平成28年4月18日

17時30分～

第一特別会議室

熊本県熊本地方を震源とする地震に関する
農林水産省緊急自然災害対策本部

(第3回会合)

議事次第

- 1 開会
- 2 本部長御発言（大臣）
- 3 各局庁からの報告
- 4 閉会

(別添)

農林水産省緊急自然災害対策本部の構成員

区 分	職 名
本 部 長	農林水産大臣
本部長代理	農林水産副大臣
〃	農林水産副大臣
副本部長	農林水産大臣政務官
〃	農林水産大臣政務官
本部長補佐	農林水産事務次官
本 部 員	農林水産審議官
〃	大臣官房長
〃	大臣官房統計部長
〃	〃 総括審議官
〃	〃 総括審議官（国際担当）
〃	〃 技術総括審議官
〃	〃 危機管理・政策評価審議官
〃	消費・安全局長
〃	食料産業局長
〃	生産局長
〃	経営局長
〃	農村振興局長
〃	政策統括官
〃	農林水産技術会議事務局長
〃	林野庁長官
〃	水産庁長官

平成 28 年熊本地震被災者生活支援チームの開催について

平成 28 年 4 月 17 日
内閣総理大臣 決裁

- 1 平成 28 年熊本地震による被災者の生活支援を迅速かつ強力に進めるため、平成 28 年熊本地震被災者生活支援チーム（以下「チーム」という。）を開催する。
- 2 チームの構成は、次のとおりとする。ただし、チーム長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。

チーム長	内閣官房副長官（事務）
副チーム長	内閣総理大臣補佐官（国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生並びに健康・医療に関する成長戦略担当）
	内閣危機管理監
	内閣官房副長官補（内政担当）
	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）
	内閣府事務次官
構成員	内閣広報官
	警察庁長官
	金融庁長官
	消費者庁長官
	復興庁事務次官
	総務事務次官
	法務事務次官
	外務事務次官
	財務事務次官
	文部科学事務次官
	厚生労働事務次官
	農林水産事務次官
	経済産業事務次官
	国土交通事務次官
	環境事務次官
	防衛事務次官

- 3 チームの庶務は、内閣府の助けを得て、内閣官房において処理する。
- 4 チームの下に連絡調整グループを置く。連絡調整グループの構成員は、関係行政機関の職員でチーム長が指名する官職にある者とする。
- 5 前各項に定めるもののほか、チームの運営に関する事項その他必要な事項は、チーム長が定める。

平成28年4月16日（土）1時25分に熊本県で発生した
地震について

1 地震の概要

(1) 発生日時

平成28年4月16日（土）1時25分頃

(2) 震源及び規模震源地

熊本県熊本地方、深さ約12km、マグニチュード7.3

その後、複数回大きな余震が発生

(3) 各地の震度

震度6強 熊本県熊本

震度6弱 別府市、由布市

震度5強 豊後大野、日田市、竹田市、九重市

震度5弱 大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市

17日17時現在、震度1以上を観測する地震が508回発生。

2 全体の被害状況（一部マスコミ報道による）

(1) 人的被害（4月15日からの累計）

死者42人、負傷者約1,000人

(2) 建物被害（17日9:40現在）

熊本県：家屋倒壊多数。

このほか、大分県、福岡県、宮崎県で被害。

(3) 道路その他の被害

橋の崩壊、土砂崩れ、道路崩落等の発生、道路の通行止め
が発生。

鉄道（九州新幹線、在来線）での運転休止等が発生。

(4) ライフライン

電力：3万3800戸の停電（18日6:00現在、九州電力）

ガス：熊本市周辺10万5000戸の供給停止（18日6:00）

水道：断水（24万4640戸）（17日21:00）等。

（注）数値はいずれもそれぞれの時点のものであり、今後変更があり得る（以下の資料についても同じ）。

4月18日（月）15:00時点

現在の状況（消費・安全局）

1 災害救助犬の受入れ

現時点で、海外からの災害救助犬の受入れについての照会なし。

2 動物検疫・植物検疫の緊急的対応

(1) 動物検疫所

九州地区の全ての動物検疫所の職員・施設の被害なし。

(2) 植物防疫所

九州地区の全ての植物防疫所の職員・施設の被害なし。

3 食品安全の危機管理対策

(1) 関係省庁との連絡体制を確保。

(2) 現時点で健康危害の報告はないが、次の情報を厚生労働省が確認中。

※ 報道情報によれば、熊本市は、熊本地震の避難所になっている2避難所の避難者からノロウイルスを検出したと発表。

4 食品表示制度の弾力的運用

食品表示規制の弾力的運用について検討を開始。

5 動物用医薬品・農薬の安定供給対策

(1) 動物用医薬品

化血研（熊本市、菊池市）について、現時点で、人的被害はないが、建物及び設備に被害が生じたため、現在、生産を中止し、復旧へ向けた対策プロジェクトを設置し、調査を実施中。（化血研は、この内容について16日（土）にプレスリリース。）

また、調査の結果を踏まえ、20日（水）までに復旧計画を作成したいとの情報。

(2) 農薬

農薬工業会に対し、被害があれば報告するよう依頼済。

また、全国農薬協同組合等からの聞き取りによれば、店舗の建物への被害や道路事情の悪化による配達トラブル等が発生しているところはあるものの、毒劇物の農薬の漏洩が懸念されるような状況にはないとの情報。

6 国内の病虫害防除対策・家畜衛生対策

(1) 病虫害防除対策

熊本県（合志市）、福岡県、大分県の職員・施設の被害なし。

(2) 家畜衛生対策

熊本県及び大分県の家畜保健衛生所の職員・施設の被害なし。病原体所持施設である化血研については、5の（1）参照。学術研究機関である大分大学医学部（由布市）については、職員・施設の被害なし。

平成28年4月18日15時00分現在
熊本地震に係る対応状況について
(最終到達地については引き続き確認中)

1. 支援物資の供給状況(4月17日分) 13万食
(1) 鳥栖流通センター等への到着数量、輸送手段、到着時刻について

①	パン	40,000食		
	(内訳)			
	山崎製パン	30,000食	(自社調達トラック)	17時鳥栖到着済
	オイシス	5,000食	(国交省に依頼)	18日7時鳥栖到着済
	タカキベーカリー	5,000食	(国交省に依頼)	20時45分鳥栖到着済
②	カップ麺	50,400食		
	(内訳)			
	日清食品	50,400食	(国交省に依頼)	17時鳥栖到着済
③	おにぎり	11,000食		
	(内訳)			
	炊飯協会	11,000食	(自社調達トラック)	
	のぼる	2,500食	(自社調達トラック)	21時10分宇城市役所到着済
	どんどんライス	5,000食	(自社調達トラック)	18日7時10分熊本市内到着済
	ヨコヤマ	2,500食	(自社調達トラック)	18時半宇城市役所到着済
	北九炊飯	1,000食	(自社調達トラック)	21時宇土市役所到着済
④	パックご飯	29,840食		
	(内訳)			
	佐藤食品	20,000食	(自社調達トラック)	13時・15時鳥栖到着済
	神明	9,840食	(自社調達トラック)	13時半鳥栖到着済
⑤	育児用調製粉乳	1,368kg		
	(内訳)			
	日本乳業協会	1,368kg		
	明治	480kg	(自社調達トラック)	10時30分鳥栖到着済
	雪印ピーンスターク	500kg	(自社調達トラック)	11時50分鳥栖到着済
	森永乳業	388kg	(自社調達トラック)	12時40分鳥栖到着済
				上記及び幼児用の水120L

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

(2) 県が要請した支援物資等の到着数量、輸送手段、到着時刻について

- ① 保存用パン（缶入り） 3,432個
 (内訳)
 日興食品（佐賀工場） 3,000個 (国交省に依頼) [16日南小国到着済]
 432個 (国交省に依頼) [17日益城町到着済]
- ② 保存用パン（長期保存） 12,000個
 (内訳)
 イケダパン（鹿児島県・重富工場） 12,000個 [自社調達トラック] [20時45分アクアドーム熊本到着済]
- ③ 水 2 L 40,104本
 (内訳)
 財宝（垂水第一工場） 40,104本 (国交省に依頼) [17日中に熊本県内供給地7カ所に到着済]
- ④ アルファ化米 1,000食
 (内訳)
 尾西食品 1,000食 (国交省に依頼) 昨日6時現地到着済
 [熊本県民総合公園陸上競技場]
- ⑤ 備蓄米 4,500kg [備蓄米の保管業者がトラックを調達] 17日21時30分阿蘇到着済

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

2. 支援物資の供給予定 (4月18日分) 36万食

(1) 鳥栖流通センター等への到着数量、輸送手段、到着時刻等について

- | | | | | |
|---|------------------|---------------|------------|---|
| ① | パン | 150,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | オイシス | 5,000食 | (国交省に依頼) | 12時30分発送 済 |
| | 木村屋總本店 | 10,000食 | (国交省に依頼) | 15時発送 済 |
| | 神戸屋 | 20,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送 済 |
| | 敷島製パン | 40,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送 済 |
| | タカキベーカリー | 5,000食 | (国交省に依頼) | 12時発送 済 |
| | 第一屋製パン | 4,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送 済 |
| | フジパン | 22,000食 | (国交省に依頼) | 11時45分発送 済 (一部) |
| | 山崎製パン | 44,000食 | (自社調達トラック) | 12時30分到着 済 |
| ② | カップ麺 | 154,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 日清食品 | 154,000食 | (国交省に依頼) | 12時発送 済 |
| ③ | おにぎり等 | 51,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 山崎製パン | 40,000食 | (自社調達トラック) | 8時到着 済 |
| | 炊飯協会 | 11,000食 | | |
| | のぼる | 2,500食 | (自社調達トラック) | 12時発送 済 |
| | どんどんライス | 5,000食 | (自社調達トラック) | 20時発送 済 |
| | ヨコヤマ | 2,500食 | (自社調達トラック) | 19時発送 済 |
| | 北九炊飯 | 1,000食 | (自社調達トラック) | 12時発送 済 |
| ④ | パックご飯 | 10,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 佐藤食品 | 10,000食 | (自社調達トラック) | 15時到着 済 |
| | ※越後製菓 | 48,000食 | 発送 | (19日未明到着) |
| ⑤ | 水 | | | |
| | (内訳) | | | |
| | サントリー食品インターナショナル | 550ml 72,000本 | (自社調達トラック) | 9時到着 済 |

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

(2) 県が要請した支援物資の到着数量、輸送手段、到着時刻について

① 保存用パン（缶入り）

（内訳）

トクスイコーポレーション 7,680食（国交省に依頼） 9時発送済

② 保存用パン（長期保存）

コモ 9,600食（国交省に依頼） 9時発送済

③ 水2L

財宝（垂水第一工場）19,896本（国交省に依頼） 9時発送済

ミツウロコピバレッツ（岐阜養老工場）60,000（国交省に依頼）14時45分発送済

熊本県における生乳流通の現状について

28. 4. 18
生 産 局
畜 産 部

1. 酪農家からの集乳状況

- 発生直後は集乳できない地域が熊本県下で広がっていたものの、昨日(17日)から阿蘇地域の一部を除き集乳が再開。本日(18日)には、阿蘇の同地域で新たに集乳が可能となった酪農家もある。

2. 熊本県内の乳業工場稼働状況

・熊本県酪連

熊本工場(熊本市)・・・操業停止。

本日(18日)から生乳受入再開。(※)

菊池工場(菊池市)・・・本日(18日)から操業再開したが、
トラブルのため19日は停止予定。

・熊本乳業(株)(熊本市)・・・操業停止。

・(株)弘乳舎(熊本市)・・・操業停止。生乳受入可能。(※)

・球磨酪農協(球磨郡相良村)・・・操業中。

(※) 飲用乳・乳製品の製造はできないが、所有タンクでの生乳の受入後、他工場への移出が可能。

3. 県外の乳業工場への振り替え送乳の状況

- 操業中の県外乳業(九州明治：福岡県八女市、雪印メグミルク：福岡県福岡市、南日本酪農協：宮崎県都城市など)に向け、指定団体(九州生乳販連)の指示により、熊本から生乳を順次輸送中。

- 道路事情により輸送に時間を要していることから、九州域外から、移出用のローリーの数を増やす手配を行っているところ。

土地改良施設関係の状況について

4月18日14:00時点
農村振興局防災課災害対策室

【1. 国営造成ダム（事業実施中）】

- (1) 点検対象は4ダム。
- (2) 3ダムについては、二次点検の結果、異常なし。
- (3) 大蘇ダムについては、二次点検の結果、ダムの天端にクラック（幅7mm程度）を7箇所確認済み。

※現在、ダムは貯水していないため、下流への危険度は低い。

※ダム工学の専門家、農研機構の研究者等による現地調査及び応急対策の検討を可及的速やかに実施する予定。

【2. 国営造成ダム（完了地区）】

- (1) 点検対象は24箇所。
- (2) 一次点検及び二次点検の結果、異常なし。

【3. 地方公共団体等のダム・ため池施設】

現在のところ、決壊等の被害情報はなし。

都道府県名	ダム点検状況			ため池点検状況	
	点検対象箇所	1次点検	2次点検	点検対象箇所	緊急点検
熊本県	7箇所	異常なし	異常なし	122箇所	100箇所は異常なし 10箇所は変状あり 12箇所は調査中
福岡県	9箇所	異常なし	異常なし	78箇所	異常なし
佐賀県	7箇所	異常なし	異常なし	19箇所	異常なし
長崎県	3箇所	異常なし	異常なし	49箇所	異常なし
大分県	30箇所	異常なし	異常なし	298箇所	異常なし
宮崎県	2箇所	異常なし	異常なし	4箇所	異常なし
鹿児島県	12箇所	異常なし	異常なし	12箇所	異常なし
九州計	70箇所			582箇所	

- (1) 熊本県の変状（クラック）の発生したため池については、水位を低下させるとともに、ブルーシートによる保護等を実施済み。

- (2) 大切畑（おおきりはた）ため池について
- ・ 16日(土) 9:52に熊本県庁の3名の農業土木技術職員により、堤体の状況を確認済み。その後、九州農政局幹部（地方参事官）も現地確認済み。
 - ・ 現在、堤体からの漏水はなく、取水施設から放流を継続して水位を低下させているところ。(18日(月) 13:45に熊本県職員が確認したところ、水深は、満水時の12.9mから約7m低下。)

【4. 農地・農業用施設の被害状況】

- (1) 国営かんがい排水事業実施中地区の水路等
- ・ 震度4以上を観測した7地区（筑後川下流、筑後川下流左岸防災、筑後川下流右岸防災、大野川上流、川辺川、西諸、大淀川右岸）について、異常なし。
- (2) その他国営造成施設の水路等
- ・ 熊本県の菊池台地地区及び八代平野地区において被災を確認済み。
- (3) 干拓堤防等
- ・ 諫早湾干拓堤防、直轄海岸地区の玉名横島事務所、有明事務所の海岸堤防について、異常なし。

【5. その他の課題】

- (1) 農振・農地転用許可の災害復旧時の取扱いの周知
- ・ 非常災害時の応急仮設住宅建設、電気、ガス等の公益的施設の復旧に係る開発行為や転用に関しては、農地法・農振法上の知事許可を要しないことを、改めて周知済み。
- (2) 農地・農業用施設の災害復旧への支援
- ・ 農地・農業用施設の早期の復旧に向けて、九州農政局の技術職員による技術的助言や、災害査定の前に復旧工事の着手が可能となる「査定前着工制度」の周知等による、被災した市町村への支援を実施していく。
 - ・ 18日(月)から、農業用ダムや水路などを専門とする農業土木技術職の職員を、東海農政局から2名、近畿農政局から4名を応援派遣。既に東海農政局2名、近畿農政局2名は、現地に到着し支援業務を開始。
- (3) 激甚災害指定
- ・ 農地・農業用施設について、被害額の把握を早急に実施していく。

平成28年4月18日15:00現在

平成28年 熊本地震における対応について
【政策統括官】

1. 支援物資の供給状況について

(1) プル型支援（アルファ化米）

熊本県から支援要請があったアルファ化米(1,000食)については、製造大手の尾西食品(株)宮城工場(大崎市)から、4月16日(土)15時30分に緊急災害対応車両で現地へ発送し、4月17日(日)6時10分に現地指定場所(熊本県民総合運動公園陸上競技場)に到着、県庁担当者に荷物の引渡しを完了。

(2) プッシュ型支援

【おにぎり】

17日(日)11,000食(炊飯協会) ※17日着済

18日(月)11,000食(炊飯協会) ※18日着(予定)

19日(火)11,000食(炊飯協会) ※19日着(予定)

- 4月16日(土)(公社)日本炊飯協会に要請し、17日(日)供給可能な11,000食については、各製造メーカーから順次発送し、17日(日)中に到着済(日本通運(株)鳥栖流通センター)。

【パックご飯】

17日(日)20,000食(佐藤食品) ※17日着済

9,840食(神明) ※17日13:00着済

18日(月)10,000食(佐藤食品) ※18日15:00着済

19日(火)20,000食(佐藤食品) ※19日10:00着(予定)

48,000食(越後製菓) ※19日8:00着(予定)

10,080食(神明) ※19日着(予定)

- 4月16日(土)(一社)全国包装米飯協会に要請し、17日(日)供給可能な20,000食について佐藤食品から発送し、17日(日)13時・15時に到着済(日本通運(株)鳥栖流通センター)。さらに越後製菓より17日(日)18時30分に48,000食を出荷済、19日(火)8時に到着予定(目的地:日本通運(株)鳥栖流通センター)。

- 4月17日(日)神明に要請し、17日(日)供給可能な9,840食について17日(日)13時に到着済(日本通運(株)鳥栖流通センター)。なお、19日(火)着予定の10,080食については、輸送トラックの確保状況によっては数量の変更の可能性あり。

2. 備蓄米供給要請

- 南阿蘇村から備蓄米(4,500kg、玄米)のできるだけ早急な供給要請あり。
(現地に精米機はあるとのこと。)
- 4月17日(日)備蓄米(27年産)の引渡しについて受託事業体に指示。
運送業者が14時30分に福岡県の倉庫から出発。引渡し場所である南阿蘇道の駅(あそ望の郷くぎの)に17日(日)21時30分に到着済。

3. 施設の被害状況

現時点で判明している被害状況は以下のとおり。

(1) カントリーエレベーター・ライスセンター

(九州農政局からの聞き取り等)

- JA かみましき・ライスセンター(上益城郡山都町)
窓ガラス破損等被害が発生。
- JA かみましき・カントリーエレベーター(上益城郡嘉島町、米麦3,000t)
搬入路にひび割れ発生。搬入に支障を来す可能性。
- JA 菊池・カントリーエレベーター(菊池郡菊陽町、米麦4,320t)
乾燥機内外の断熱材の滑落、ベルトコンベアのレーン脱落、メイン電源の漏電等が発生。
- JA 熊本市・カントリーエレベーター(熊本市東区秋津町、米麦3,500t)
敷地が地盤沈下。
- JA やつしろ・カントリーエレベーター(八代市、米2,400t)
床板鉄板が破損。

※ その他、メーカーからの報告によれば、配管の外れ等の被害が複数のカントリーエレベーター・ライスセンターで出ている模様。

<参考1：熊本県内の施設数>

- カントリーエレベーター数：26施設
- ライスセンター：39施設

<参考2：熊本県全体における米、麦、大豆の例年の作業スケジュール>

- 稲：播種期=5/13(最盛期)、
移植期=4/22(始期)～6/14(最盛期)～7/1(終期)
- 麦：成育中(11月下旬～12月中旬に播種、5月下旬～6月上旬に収穫)
- 大豆：作付なし(6月下旬～8月上旬に播種、11月上旬～12月上旬に収穫)

<参考3：熊本県の生産統計>

	熊本県全体	
	戸数(戸)	面積(ha)
稲	29,468	31,965
麦類	1,746	6,304
豆類	2,181	1,884

※販売目的で作付した経営体数及び面積(出典：2015年センサス)

(2) 製粉・精麦工場

九州地域の製粉工場、精麦工場の施設の一部に配管の外れ、サイロの陥没等の被害。

(研) 農業・食品産業技術総合研究機構における
被害の状況及び被災地支援の取組について

平成28年4月18日 14:00

農林水産技術会議事務局

1 被害の状況

- ① 九州沖縄農業研究センター本所（熊本県合志市（199名））を含め、九州に在住する500名全職員の安全を確認済み。

ただし、避難所に避難している職員もいるとのこと。

- ② 九州沖縄農業研究センター本所では、実験室内でガラス器具や薬品等が散乱しているが、安全確保のため、余震が落ち着くまでは立入禁止としている。

2 被災地への支援

- ① 九州沖縄農業研究センターが所有する研修宿泊施設（合志市の本所敷地内に10部屋。現在使用していない）を、寮（南阿蘇村）が倒壊して救助された東海大学の学生に提供することとし、現在、同大学と調整中。

※農研機構は東海大学と研究連携協定を締結している。

- ② 農研機構災害対策支援本部を設置し、農村振興局との連携による農業水利施設、農地その他の農業用施設等の防災・減災、復旧を支援中。

すでに、農村振興局からの要請を受け、被災状況調査や復旧工法検討などの技術的支援のため農研機構職員の現地への派遣を準備中。

- ③ 九州沖縄農業研究センターを、支援物資の搬入場所として提供できる旨を合志市役所に連絡済み。

平成28年4月18日
林 野 庁

平成28年熊本地震の被害状況及び対応について
(4月18日 17:30時点)

1. 被害状況

○林野関係被害 (現在調査中)

- ・ 林地被害 熊本県46箇所 佐賀県1箇所
宮崎県 1箇所 を確認済。
- ・ 林道関係 熊本県15路線 宮崎県 7路線 を確認済。
- ・ 木材加工施設等 調査中

2. 対応状況

○木炭・煉炭等の供給体制整備について関係団体に要請し、
4月15日中に30トンの炭を確保済。

○本日(4月18日)、九州森林管理局は、熊本県庁及び森林総合
研究所の専門家と連携してヘリコプターによる調査を実施し
た。

○山地災害について九州全域での現地調査を実施中。

○本日(4月18日)、災害復旧に向け、技術者2名(林野庁職員)
を県庁へ派遣した。

平成28年4月18日

平成28年熊本地震について（15:30現在） 【水産庁】

1. 水産庁の対応

- (1) 熊本県に水産庁担当官を派遣し、被害状況の把握、災害査定に向け助言を行った。（4月15日）
- (2) 熊本県及び関係団体に対して、熊本県管轄漁業協同組合が金融上の措置を講じるよう指導を依頼。（4月15日）
- (3) 熊本県及び関係団体に対して、既貸付金の償還猶予等について、適切な指導等を依頼。（4月18日）
- (4) 全国漁業共済組合連合会及び漁船保険中央会に対し、加入者へ共済金及び保険金が早期に支払われるよう依頼文書を発出。（4月18日）
- (5) 全国漁業協同組合連合会、全国海水養魚協会等の養殖関連団体に対し、養殖用資材の供給が円滑に行われるよう要請。（4月18日）

2. 被害情報

- (1) 熊本県の5漁港（塩屋、松合、赤瀬、郡浦、串）において、防波堤等に被害あり。
- (2) 共同利用施設（荷さばき所、製氷施設等）の一部破損。
- (3) 民間事業者の錦鯉等養殖池が破損。
- (4) 停電による養鰻事業者の発電用燃料の不足や被災の長期化による養殖餌の不足の懸念
→全国団体による融通等について要請済。
- (5) 熊本県及び鹿児島県の海面魚類養殖関連施設についての特段の被害情報はなく状況。
- (6) 熊本県内の産地市場（18市場）の状況については確認中。また、通常、熊本県を經由して出荷している鹿児島県については、若干流通に遅延はあるものの、通常出荷。
- (7) 引き続き関係県、団体と連絡を取りつつ、被害状況を把握。

漁港位置図

